最速154kmの左腕 プロ野球に挑戦

1

2

3

4

1ソフトバンクのユニホームを着てガッツポーズを決める古谷さんと谷本献吾監督　2チームメイトから胴上げの祝福を受ける古谷さん　3ドラフト会議で名前が呼ばれた瞬間、監督と机の下で固い握手を交わした　4北海道日本ハムファイターズ、大谷翔平選手の等身大パネルとのツーショット

江陵高等学校３年
野球部主将・投手
古谷　優人さん

Profile

1999年（平成９年）生まれ・17歳
身長176cm、体重76km
左投げ左打ち
札内南小学校、札内中学校卒業
2014年（平成26年）に江陵高等学校入学。２年生で野球部主将となり、今年７月、甲子園への出場を賭けた北北海道大会で20奪三振の大会新記録を樹立。投手で１番打者としてチームを牽引し、江陵高等学校野球部初のベスト４となる準決勝まで勝ち進んだ。

ソフトバンクからドラフト2位指名の快挙

10月20日㊍、東京都で行われたプロ野球ドラフト会議（新人選手選択会議）で、多田学園江陵高等学校３年・古谷（ふるや）優人（ゆうと）さんが、福岡ソフトバンクホークスからドラフト２位指名を受けました。

十勝出身でドラフト指名された選手は古谷さんで５人目、高校生では２人目となる快挙です。

高校で投手として急成長した3年間

古谷さんは、高校１年生から投手として活躍し、２年生でストレートの球速が140km後半を記録。更には３年生の春に球速150kmを記録するなど、投手として急成長を遂げ、今年７月に旭川市で行われた北北海道大会の２回戦で自己最速となる154kmをマーク。

準々決勝では、雨の降る中、球速140km後半のストレートを投げ、鋭く変化するスライダーを駆使しながら大会新記録となる８人連続三振を含む20奪三振を記録するなど、「十勝の豪腕」「北の」などとして早くからプロ球団のスカウトから注目される存在でした。

「愛される選手に」プロでの活躍を誓う

古谷さんは９月にドラフト指名の条件となる「プロ志望届」を日本高等学校野球連盟に提出しており、「指名してくれる球団があれば、どこの球団でも行きたい」とプロ入りを表明していました。

指名後の記者会見で古谷さんは、「自分がファンである憧れの球団から上位で指名され、夢のよう。これまで支えてくれた家族や監督に恩返しができた。たくさんの人に愛される選手になりたい」と決意を語りました。

古谷さんが入団すれば、幕別町出身初のプロ野球選手が誕生することとなります。

町出身のオリンピック選手5人 子ども達とスポーツで交流

MTB体験教室とスポーツ交流会開催

「未来のオリンピックを育てる事業」の一環として、10月1日㊏、午前9時から明野ヶ丘公園でMTB体験教室を、午後からはスマイルパークで町出身のオリンピック選手で今年8月のリオデジャネイロオリンピックに出場した福島千里さん(陸上)、山本幸平さん(マウンテンバイク)、桑井亜乃さん(ラグビー)、冬季オリンピックに出場経験のある高木美帆さん・高木菜那さん姉妹(スピードスケート)の5人が勢揃いし、町内の小・中学生約70人とスポーツ交流会を行いました。

MTB教室は、昨年新設され、今年もコースを延長した山本さん監修のコースで、自らが子ども達に自転車の乗り方やフォームなどを指導。

交流会では5人の選手がそれぞれデモンストレーションを行った後、子ども達は陸上、マウンテンバイク、スピードスケート、ラグビーの4グループに分かれ、ローテーションで4種目全てを体験。最後に記念撮影を行いました。

交流会後も、子ども達は選手たちに質問をしたりサインを求めるなど、世界で活躍するトップアスリートたちとの忘れられない貴重な1日を過ごしました。

1・2MTB体験教室で、自らが監修したコースを走る山本幸平さん　3選手5人とラジオ体操　4愛用しているシューズについて話す福島さん　5福島さんのシューズに興味津々の子どもたち　6普段行っているトレーニングを実演する高木菜那さん・美帆さん　7負けず嫌いな性格がスポーツを続ける原動力だと話す高木菜那さん　8桑井さんにスローインされ、ボールを受け取る子ども　9キャッチボールでラグビーのパスを教える桑井さん　10障害物の上を走って　11・12子ども達と笑顔でかけっこをする福島さん　13コーナーベルトを使い、コーナーでの動作を指導する高木美帆さん　14サインと一緒に高木菜那さんと記念撮影

オリンピックを語る５人のトークショー

スポーツ交流会終了後、「つなごう、未来へ」をテーマに、百年記念ホール大ホールで５人を交えたトークショーを行いました。

トークショーのオープニングとして、５人のこれまでの活躍をまとめた映像が流れ、観客から大きな拍手に迎えられて５人がステージに登場。

ＦＭ-ＪＡＧＡのＤＪ、栗谷昌宏さんが司会を務め、プロアスリートの練習や普段の生活、次のオリンピック出場などについて軽快なトークで選手たちを深掘りしました。

髙木さん姉妹は２０１８年の平昌オリンピック、桑井さん、山本さんは２０２０年の東京オリンピックに向けて「挑戦したい」とそれぞれの決意を語りました。

また、町出身のオリンピック選手が多いことについて、「食べ物が美味しいこと」「運動できる環境が整っており、いつでも思う存分練習できること」などを挙げていました。

観客からの質問コーナーでは、食生活について質問があり、髙木菜那さんは「今年から栄養士と一緒に食生活を管理している」、桑井さんは「肉や魚、野菜など全てバランスよく摂っている」などと答えました。

選手たちは「５人全員が揃うのは奇跡。このような貴重な機会を与えてくれて嬉しい」と同郷アスリートとの交流を楽しみました。

司会の栗谷さんが福島さんを質問攻めし、他の選手が大笑いするシーンもあるなど、終始盛り上がったトークショー。

故郷に集結した５人は、それぞれの目標に向かって決意を誓い合った。

北海道日本ハムファイターズ

幕別町応援大使NEWS

大谷翔平選手・市川友也選手がまちにやってくる！

応援大使トークショー

11月21日㈪開催決定！

今シーズンも二刀流で大活躍した大谷翔平選手、市川友也選手のトークショーや、サイン入りグッズが当たる抽選会などを行います。

【申し込み方法】

◆**と　　き**　11月21日㈪　午後４時30分～午後５時45分
◆**と こ ろ**　百年記念ホール
◆**入　　場**　無料
※当日は当選はがきを必ずご持参ください。幕別町に住民票がある方のみ１枚で２人まで入場可能です。
◆**定　　員**　770人
◆**応募資格**　幕別町に住民票がある方
※応募者１人１回のみの応募とし、重複した場合は無効となります。
◆**応募方法**　郵便往復はがきに必要事項を記載し、下記のとおりご応募ください。**郵便往復はがき以外での応募は無効**です。
◆**応募締切**　11月14日㈪　午後５時30分必着

【往　　信】

〒089-0692

幕別町本町130番地１
幕別町役場 政策推進課
「応援大使
トークショー」 宛

この面には何も記入しないでください。
抽選結果を印刷して返送します。

【返　　信】

〒000-0000

幕別町○○町○○番地
幕別　太郎　行

応募者の住所・名前・年齢・連絡先を記入してください。
（２人で応募する場合は２人分記入）

※２人で応募する場合、すでに応募した２人が別ハガキで応募した場合（別のペアとの応募含む）は無効です。

※１ 応募多数の場合は厳正な抽選を行い、11月17日㈭までに応募者全員に返信はがきで抽選結果を通知（当選者には座席番号も通知）します。抽選結果について電話・メール等での問い合わせにはお答えできません。　※２ 応募の際にいただいた個人情報は、応募資格審査のため住民基本台帳の確認に使用させていただきます。　※３ インターネットオークション等での転売目的の申し込みを固くお断りします。転売が判明した場合は抽選の対象外とし、当選を取り消させていただきます。

問・申 政策推進課（☎54-6610）